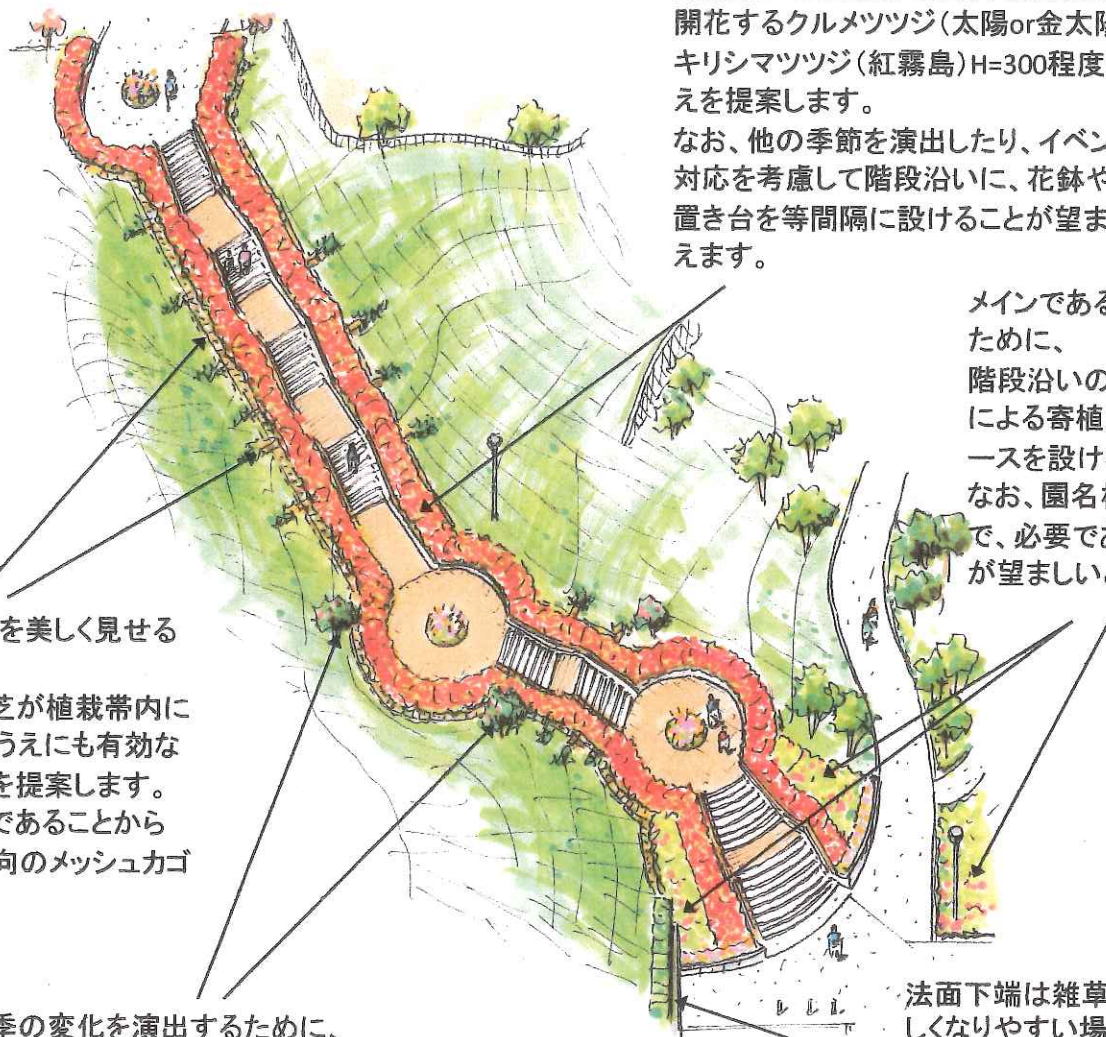


全体イメージ



階段沿いの植栽帯は、5月植樹祭時に開花するクルメツツジ(太陽or金太陽)や、キリシマツツジ(紅霧島)H=300程度の寄植えを提案します。

なお、他の季節を演出したり、イベント時の対応を考慮して階段沿いに、花鉢や灯火の置き台を等間隔に設けることが望ましいと考えます。

メインである入口広場をより強調するために、階段沿いの植栽帯とは異なるツツジ類による寄植えと、四季の草花花壇スペースを設けることを提案します。なお、園名板が計画されていませんので、必要であれば、このあたりの設置が望ましいと考えます。

階段の勾配に合わせて植栽帯を美しく見せるためと、管理上、匍匐茎で広がる吹付芝が植栽帯内に侵入して広がることを防止するうえにも有効なメッシュカゴによる土留の設置を提案します。また、植栽帯の勾配が急傾斜であることから土壌の流亡防止のため、横方向のメッシュカゴによる土留も提案します。

草原状の法面で四季の変化を演出するために、階段の上り下りでの視線の延長線上に、伐採撤去予定の中低木の花木の植栽や、粗放管理の宿根草草花の群植を提案します。

法面下端は雑草が生えやすく、見苦しくなりやすい場所です。荒れた印象を和らげるためと、視線を階段方向に誘導、整理するために、ウォール天端に低い生垣を設けることを提案します。

■ 入口広場～モニュメント広場間階段の提案